

山口県大規模盛土造成地マップ

① 大規模盛土造成地マップとは？

1995年の阪神・淡路大震災、2004年の新潟県中越地震、2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震、2018年の北海道胆振東部地震などで、谷や沢を埋めた造成宅地又は傾斜地盤上に腹付けした大規模な造成宅地において、盛土と地山との境界面や盛土内部を滑り面とする盛土の地滑りの変動（滑動崩落）が生じ、造成宅地における崖崩れ又は土砂の流出による被害が発生しました。このため、県と市町では、地震時等に滑動崩落の可能性がある大規模盛土造成地について調査を行うとともに、抽出された盛土造成地について「大規模盛土造成地マップ」として公表しています。

② 大規模盛土造成地マップを見るには？

県と市町では、国のガイドラインに基づき大規模盛土造成地の概ねの位置と規模を示したマップを作成しました。宅地の滑動崩落被害への関心を高め、防災意識の向上、防災対策の検討に活用してください。

「山口県 大規模盛土造成地マップ」で検索。PDFです。 QRコードによるアクセス

URL:<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18800/kaihatu/daikibomorido.html>



また、国土交通省「ハザードマップポータルサイト」の「重ねるハザードマップ」で防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示することもできます。

「ハザードマップ」で検索。現在位置などで確認できます。 QRコードによるアクセス

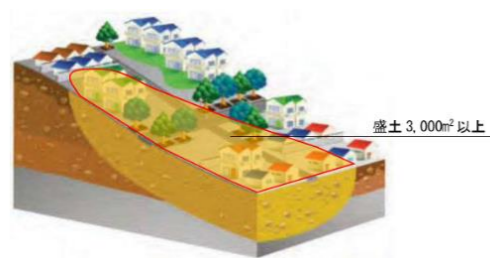
URL:<https://disaportal.gsi.go.jp/>



③ 大規模盛土造成地・滑動崩落とは？

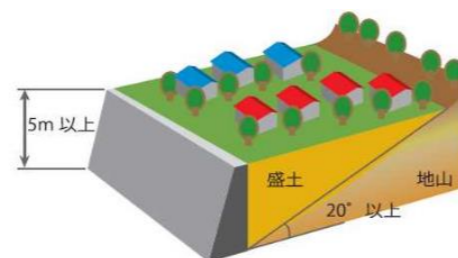
【谷埋め型大規模盛土造成地】

谷を埋め立てた宅地で、盛土の面積が3000m²以上の盛土造成地



【腹付け型大規模盛土造成地】

傾斜地盤上に盛土した宅地で、盛土する前の地盤面傾斜が20°以上の急な斜面で、かつ、盛土高さが5m以上の盛土造成地



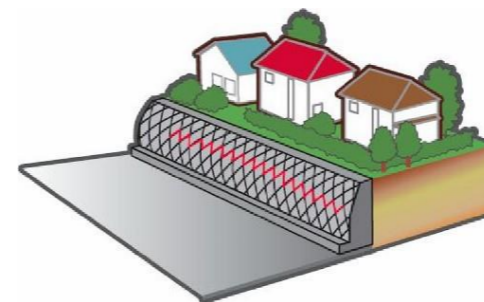
【滑動崩落】

地震時及び降雨時等に造成宅地において、盛土全体又は大部分が、主として盛土底面部を滑り面として、旧地形に沿って流動、変動又は崩落する現象

④ 大切な宅地のチェックポイント

宅地の災害を防ぐためには、日頃からご自宅の宅地や周辺の擁壁、斜面などに目を配り点検することによって、宅地被害の前兆となりうる異常を早く発見できます。

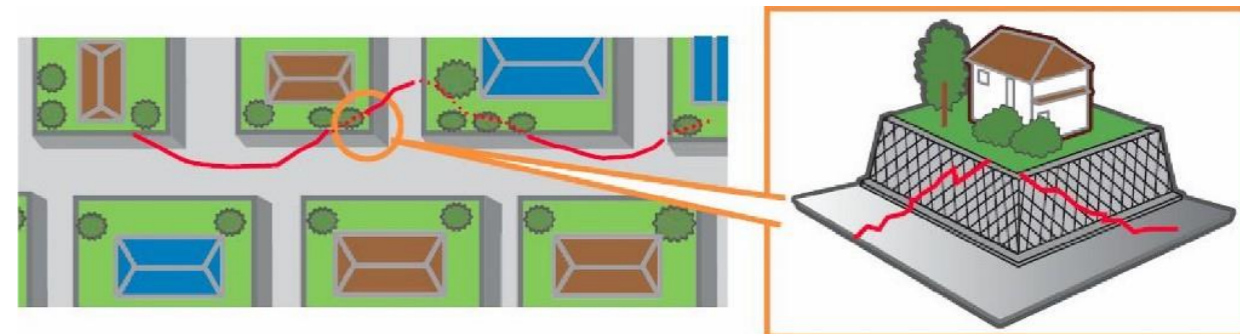
○ 擁壁の長い区間で変状（ハラミ出しや水平亀裂）が見られる。



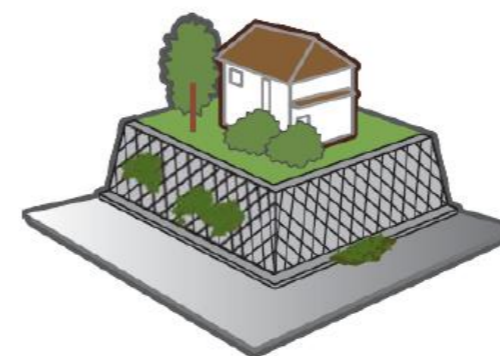
長い亀裂

(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

○ 宅地地盤（道路や側溝含む）・亀裂の変状が連続している。

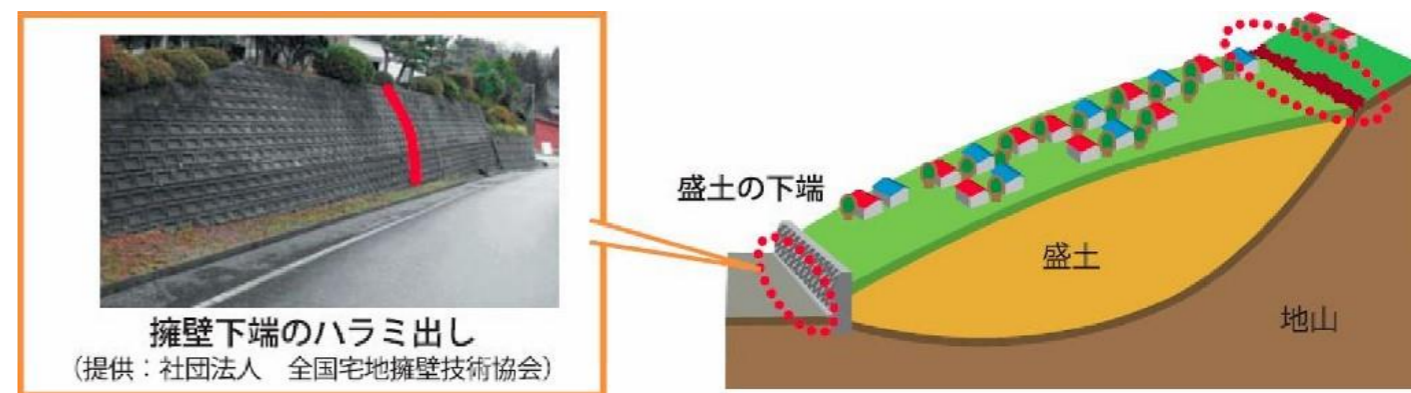


○ 擁壁がいつも水のしみ出しにより濡れている、コケが生えている。



水がしみだしている擁壁 湧水部分にコケが生えている擁壁
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

○ 盛土の範囲が特定されている場合、盛土の上端と盛土の下端の部分の擁壁などに
変状が見られる、湧き水がある。



擁壁下端のハラミ出し
(提供：社団法人 全国宅地擁壁技術協会)

もし、何かおかしいとお気づきになった際は、お住まいの市町担当窓口にご相談ください。